

守谷なくして県政なし



小川一成の県政報告

守谷大好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

発行 小川一成
〒302-0125
守谷市高野646
TEL.0297-48-1064

前照灯の昼間点灯

3月22日、最終日の最後の質疑に立ちました。

【以下答弁】

—小川一成県議—

交通事故多発県の脱却へ前照灯の昼間点灯運動に取り組むべきでは。

—大井川和彦知事—

2年後に自動点灯が義務化されることなどを勧案すると、現時点で推奨するには難しい課題もあるが、県警と協議しつつ、試行的に導入できないかを含め、前向きに検討していく。

大井川知事より、積極的な答弁を引き出しました。



予算特別委員会

国家国民の為に

菊地副知事が3月末をもって総務省に戻ります。茨城県での3年9ヶ月を県政発展のために全力で取り組んでいただきました。



私が議長の時頻りに議長室を訪れ、難しい案件に先手先手と手を打ち、その仕事ぶりや切れ味の良さが印象的でした。本省に戻っても健康に留意され、**国家国民の為に**ご活躍ください。

小川一成のひとりごと

～正義は人間を最も残酷にさせる～

- 怒りは自己を正当化し、正義になりすまそうとする。
正義の持つ恐ろしさをよくよく自覚すべし。
どんなに大義名分があり、相手が不条理なことをしたとしても、そこに怒りをおこすのは、それが自分の都合に反し思いを妨げたからだ。
- 自分が正義と思ったとき、人間はどれだけでも残酷になれる。
正義の恐ろしさというのは、自分が正義だと思えば、ためらいなく相手を傷つけてしまうことだ。戦争や、民族紛争、宗教戦争など、どんな戦争も自分の正義を主張する。
- 正義は人間を最も残酷にさせる。
こんな事を最近つとに考えさせられます。

～桜の花びらには山の神が宿る～

桜には山の神が
その花びらに宿るという
散って田に下り稲作を守り
秋の収穫祭でまた山に送り返される
散る桜が美しいのは
神が降りてくるからなのか
目の前にひとひらの花が舞う
つかの間の春



環境保全対策調査特別委員会

委員長として結果を求める

2017年12月15日「環境保全対策調査特別委員会」を招集しました。

本委員会は2017年3月に設置されて以降、7回、開催し精力的に審査を進めてきました。

私は委員長として、特に積年の課題である「霞ヶ浦の水質浄化」については結果が求められている。

その期待に応えるためには「**できることは、直ちに、すべてやる**」「**求められているのはスピードだ!**」と、折にふれて申し上げてきました。

本委員会では「地球温暖化」や「生物多様性」、「森林湖沼環境税」や「廃棄物」など多岐にわたって精力的に審議し、それぞれ、対策の在り方や、今後取り組むべき事項などについて提言をとりまとめました。

執行部各位におかれましては、本委員会の提言を真摯に受け止め

- スピード感を持って
- 県民に理解を得られる
- 結果につながる

環境保全対策に取り組まれることを切に望むものです。



大井川知事のスピード感を評価する



2018年2月、大井川新知事による組織改正と予算編成が行われました。

上記の記事で知事に提言した「**霞ヶ浦の環境保全対策**」は知事の**本気度**が感じられる**明快な方向性**ができました。

私は委員長として「浄化に対する専門部署を知事直轄にし、知事を筆頭に強力に取り組むべし」と提言しました。それに対して知事は「霞ヶ浦浄化対策監」(次長級)を設置しました。このスピード感を評価したい。

新任 柴原県教育長に期待

2017年12月12日、茨城県議会にて文教警察委員会が開かれました。前任者の小野寺教育長が副知事に転出されたので、新たに柴原教育長が選任されました。

今日が最初の常任委員会での答弁なので、私からは「教育に対する思いと今後の取り組みについて」質問しました。明快な答弁に期待しています。



文教警察委員会

少数民族のレンテン族

ラオス北部ルアンナムターの山あいに少数民族のレンテン族がひっそりと住んでいます。

この村の出身であるフィリックさんに案内されて青年海外協力隊員のみなさんと一緒に訪問しました。30人ほどが住む小さな村で藍で染めた織物をなりわいとしています。

我が家も戦前、戦中、戦後と藍染をし、その糸で反物を織っていました。藍の匂いが懐かしく感じられました。



日本に行きたい



2月23日ルアンパバンのCCC(子供文化センター)に行き今年7月18日から31日まで日本に招聘する生徒の最終選考をいたしました。20人を超える生徒が日本語と日本について一生懸命に学んでいます。13人しか招聘できません。

先生は青年海外協力隊の佐藤隊員です。授業への出席率と日本語の試験の結果を重視しています。

日本に来て披露する、伝統舞踊と伝統人形劇(エポック)の演目も決めました。

筑波大のインターン生



筑波大の櫻井さんがインターン生として小川事務所に来て2ヶ月、3月末で日程が終了しました。その間とても積極的に学び、体験をしました。

櫻井さんにとって人生の一時期、全く別な世界を見る事はきっと何かの役に立つのではないかと思います。期待しています。

帰国ボランティア

3月15日、JICA筑波で「ボランティア家族連絡会」に協力隊を育てる会として参加いたしました。

任国に派遣されている留守家族の方々に現地の支援体制や帰国後の支援体制について丁寧な説明がありました。

帰国ボランティアの体験談は、モンゴルに派遣された辻隊員が-30°の体験を交えた楽しい時間を提供してくれました。私のインターン生も初めて聞く世界に興味津々でした。



JICAビエンチャン事務所訪問

2018年2月16日、ラオスのJICA事務所を訪問しました。ここでの目的は二件です。

一つはJICAビエンチャンの事務所を訪ね、米山所長さんにお会いすることです。

要件は7月にCCC(子供文化センター)の生徒15名を招聘するにあたり、CCCで活動している協力隊員の随行をお願いすることです。

茨城県青年海外協力隊を育てる会会長として公文書をお持ちし、ご理解をいただけるようお願いしました。

二件目は日本大使館の清田書記官に会って、7月にルアンパバンのCCCの生徒を招聘する件についての協力要請です。因みに清田書記官は守谷市のけやき台中学校卒で、2004年にグリーンリー市に派遣されています。



JICAビエンチャン事務所

確かな手ごたえ



ソンスリラン(中央)

ラオスのルアンパバンから日本政府の招聘でソンスリランが来日し東京と名古屋で研修を受けています。

その合間を縫って3月16日守谷を訪ねてきました。彼は10年前に守谷市国際交流協会20周年の時に我々が招聘したメンバーの一人です。その時、小葉さん宅にホームステイしたのを恩義に感じ、その後も交流を続けていました。

今回も、小葉さん宅で歓迎を受け私の事務所にも来てくれました。我々がルアンパバンに行くたびに、現地で歓迎してくれる好青年です。

こんな交流が20年近くも続いている事に確かな手ごたえを感じています。

市民のレベル

3月4日、利根川クリーン作戦に参加いたしました。多くの市民の参加を得て利根川の河川敷3ヶ所で同時に実施致しました。

市民の意識の高さがその町のレベルの高さだと考えております。住み良さランキング日本一は市民のレベルの高さを物語っています。



阿見町国際交流協会20周年

1月28日、阿見町国際交流協会の20周年記念式典に守谷市国際交流協会会長としてお招きをいただきました。

平成9年にスタートしましたが、前の年から設立準備のために熱心な会員の皆さんが、何度も守谷に足を運び交流をいたしました。

あつという間の20年ですが今年は守谷市国際交流協会も30周年です。未来に向けて新たな一歩を踏み出したいと思います。



茨城県議会議員 小川一成

〒302-0125 守谷市高野646
TEL.0297-48-1064 E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

小川一成

検索

「小川一成のブログ」
とても面白い!



配信中

趣味の養蜂



「守谷みつばち夢プロジェクト」 この指と〜まれ!

「ミツバチサミット賞」を受賞

2017年11月11日・12日と筑波大学で開催されていた、第1回目となる「ミツバチサミット2017」に、私ども「守谷みつばち夢プロジェクト」はポスター発表で参加し、

守谷市での養蜂活動や特産品開発・地域との繋がり持つ活動紹介をしてきました。今日はフォトコンテストやポスター発表の表彰があり、当プロジェクトのポスター発表が「ミツバチサミット賞」を受賞しました!

プロジェクトのメンバー6人で参加したのですが、会場で発表とともに大きな歓声を上げてしまったのは自分たちだけ。普段からそうやってみんなで楽しんでいる雰囲気、活動報告ポスターからも伝わったのではないかな〜と受賞理由を自分なりに感じています。

ミツバチ愛に溢れたすごく楽しい2日間でした。

全国から集まったミツバチ好きとお話して来て、勉強にもなりました。

守谷みつばち夢プロジェクトでは参加メンバーとミツバチは随時募集しています。連絡先 TEL.0297-48-1064(小川事務所)

